

# 泉の自治だより

題字は県会議員 岡田 脩先生

№ 19

発行所 泉自治区連合会  
発行責任者 連 区 長  
事務局(泉公民館内)  
土岐市泉町中竈町  
TEL 55-3653

世帯数	男	女	計
河合区	320	562	1156
定林区	550	996	2008
大富区	2021	3163	6482
久尻区	2467	4031	8190
駅前区	643	951	2020
計	6001	9703	19856

泉町人口(二、一〇一現在)

## 県政報告

### 第四回(九十月)

#### 県議会一般質問初登壇の報告

岐阜県議会議員 岡田 脩

九月に開会された第四回定例県議会で、十月二日県議場に初登壇し、次の四点を中心に県行政の見解を問う機会を得ましたので報告いたします。

#### 〔質問の概要〕

①登校拒否の対策について  
最近、校内暴力などの問題は一応沈静化したが一応では登校拒否の問題が深刻化し、県下の小中学校では、年間一五〇〇名程とい

全国平均を上まわる結果となっている。登校拒否は、複雑要因から成り、それぞれ異なる原因をもって、その基は、環境に對しての不適合が高まった状態でおこるわけであるから、適応できる環境にしてやるのが解決策である

と考える。そのために、現学校に籍をおいたままの校外制度を弾力的に認めることはできないか、また市単位で促進学級を設置したり、学校内に適応学級を増設など、今こそ弾力的な教育行政が重要であるが、県

職業教育では、教室での勉強のみならず、実際にも触れ、生徒が自らの手で直接体験できるというメリットがあり、創造

のよるこびも大である。また、日新月歩の技術革新による光

目的意識をもって学ぶ生徒にとっては、中途退学者は、普通

が現状である。



初登壇の一般質問場面

近年、景気の拡大を背景にして、求人的大幅増加が続いている。その反面、求職者の減少で、労働力不足が生じている。

東濃西部で名古屋への通勤者がJRだけで約二万人近い人材が県外へ流出している。せめてその半でもこの地にとどまり地域の企業

および地場産業に従事していただけたらと願うものである。岐阜県は「労働力提

本県の将来を考えた時、労働力確保が深刻な問題となってくる。そこで、県外

就職者の若者に対しては、就業者の若者に対しては、

開連して、日本の経済成長にともない近隣諸外国から労働者を受け入れてほしいという要望が強くなった

ため、平成元年には、出入国管理法の一部改正がされたために、難民および日系

二世、三世の定住認定が急速に増えてきた。

明治四十一年に、日本船「笠戸丸」に七九一人が乗って南米ブラジルへ日本から

最初の移民が渡り、昭和八年頃には年間二万四千人余の人々がブラジルに出

一般質問に答えたもので、国の承認の具体的なめどが示されたのが初めて

かえる学校も、ことばの通じない壁にぶつかり困っている現状である。国際化時代のといわれる今日、日系人に対する生活環境の整備が急務となってきた。日本

語および日本の生活習慣等の教室または講座を企業および各機関で開設し、一日も早く日本社会に融け込んでいる。

国際交流は、物の流れ、金の移動、人的交流の三つが大きなものであるが特に、人と人との心の交流が重要な課題である。そのために、

生活環境の整備と、日系人受け入れ企業に呼びかけて日本語および生活習慣教室等の「適応学級」の開設を図ることが重要であると考

えている。

④東濃西部研究学園都市構想の承認はことし一月三重県の「三重ハイテクブ

ラネット21構想」に第一号がなっている。

また、岡田氏は同都市の中核的施設である▽核融合科学研究所▽超高温材料研究センター▽日本無重量総合研究所の建設状況も質問

山田部長は次のような進行状況と運用開始のめどを示した。

〔核融合科学研究所〕本年度から中心施設、大型ヘリカル実験棟と加熱実験棟の建設が始まり、全体の完成は平成八年度を予想。

〔超高温材料研究センター〕ことし六月に一部運用を開始。来年四月に全面運用となる見込み。

〔日本無重量総合研究所〕ことし中に無重量落下装置や実験棟の建設に着手。平成五年四月の運用開始を目指す。

### 営業時間のご案内

土岐本店	☎54-1234 AM 9:30~PM 8:00
駅前店	☎54-1814 AM 10:00~PM 7:00
定林区店	☎54-5795 AM 10:00~PM 7:00
サンマート	☎55-1234 AM 10:00~PM 9:00
サンモール	☎55-1117 AM 10:00~PM 11:00
トーエー	☎59-8203 AM 10:00~PM 7:00
ファミリーレストラン	☎55-5335 AM 11:00~PM 10:00
POPAI	☎23-7474 AM 9:00~PM 12:00
CAFEジョアンナ	☎55-1118 AM 11:00~PM 10:00
季節料理・しゃぶしゃぶ	☎
庵	☎

主婦の店  
いい人・いい街・いい暮らし

### 三起屋ファミリーカード会員募集中!!

- ①5%のご優待割引(食品は除外) 但し、食品についてもカードの使用はできません。
- ②特別御優待セールへご案内
- ③恵那峡ランド・土岐グランドボウル・多治見大映入场券特別割引

くわしくは  
1F・3F  
サービス  
コーナーへ

特典



## 三起屋百貨店

土岐市泉町久尻42-11  
TEL 0572-55-5011



暖かいご支援の賜ものと深く感謝いたしております。常日頃地盤沈下をされていると云われております泉町の今後におきまして活性化に繋がることを期待しております。

さて仮称大富墓地については昨年本紙第十五号にて若干述べさせて頂いたが、今回の市議選における私の公約の一つでもあります。これが実現のため鋭意努力をいたしております。現在大富区と共に計画を進めております。その要旨は次の通りでございます。



市長 河野 健二

大富区民の墓地不足戸数は一六六二戸(平成三年四月一日現在のうち約三百五十戸から四百戸数と予想されるので残り約三百から四百区画)については大富区以外に二次募集を考へており、いづれの墓地を建設することも資金面等を考へても大変でございますが、これも地元住民の皆さんに喜んでいただけるものと確信しております。これが実現のため、大富区役員とともに一生懸命努力をさせて頂いております。

⑥0年9月、将来の本市のさらなる発展のため、本市産業の複合化を計り若者の地元定着のために、速やかに古き考えを捨て、他産業の誘致を、英断を持って実行すべき、今がその節目である」と提言(市長の勇気ある決断により、61年3月土岐市工場誘致条例が、できました)

2期8年間の歩みと私

市議員 梶間登志夫

- 一、分譲区画予定数七百から八百区画
二、一画面積一八〇〇種四方約一坪
三、(今後の必要事項)
(イ)土岐市(墓地用地)の借入申込書
(ロ)墓地組合の設立
(ハ)計画書及び設計書と見積書の作成
(ニ)関係官庁(開発申請約三ヶ月から六ヶ月必要)
(ホ)施行業者の選定
(ヘ)金融機関への借入金申込み
(ヘ)造成平成四年度後半より平成五年度完成見込み
一分譲開始は予定として平成五年度
一分譲価格 未定
尚大富区全十八町内会を通じて近く墓地希望者を募集することになっております
以上が計画の概要であります

本年3月肥田町より泉町久尻寺下第一町内会へ転居しました。泉町の皆様には今後共大愛お世話になりますが、何卒よろしくお願いたします。又今回の選挙では皆様の暖かいご支援により当選させて頂き重ねてお礼申し上げます。

⑥1年9月、保育園の延長保育の新たな提言(なげり強く取り上げ)ひた保育園で本市初の実施
⑥2年9月、時代の進展から見て学校教育にパソコンの早期導入を提言(63年度より導入開始)
⑥その他他生活に密着した問題として、61年には父 семействаの医療費助成を提言し62年4月から新条例として発足
又教育委員に女性の登用、水道料金の値下げ、ゴミ問題、自然を守る陶史の森の整備と今後のあり方等本会議委員会、予算要望等その他あらゆる機会を通し今日まで市民の皆様と共に力一ぱい、頑張つてまいりました。さらに今後これ迄の貴重な体験と尊い教訓を生かし本市のため、泉町のために全力で取り組んでまいります。一層の指導を賜ります様、お願い申し上げます。

尚、本年9月議会では泉町民の立場から次の様な一般質問をいたしました。
(一)行政サービスについて
本市において、市役所支所のない所は土岐市と泉町だけであり、将来泉町駅東部の北部、西部に支所の新設が、又は公民館が、今全国的に理解を示し始めた郵便局等で、住民票の写しの発行等出来る様にすることは出来ないかと問題提起をいたしました。今後良く研究するという答えで、

⑥0年12月、高齢者の生きがいと環境と教育上から、ゲートボール場にトイレの設置の提言(61年度より3年間で実現しました)
⑥1年9月、保育園の延長保育の新たな提言(なげり強く取り上げ)ひた保育園で本市初の実施
⑥2年9月、時代の進展から見て学校教育にパソコンの早期導入を提言(63年度より導入開始)
⑥その他他生活に密着した問題として、61年には父 семействаの医療費助成を提言し62年4月から新条例として発足
又教育委員に女性の登用、水道料金の値下げ、ゴミ問題、自然を守る陶史の森の整備と今後のあり方等本会議委員会、予算要望等その他あらゆる機会を通し今日まで市民の皆様と共に力一ぱい、頑張つてまいりました。さらに今後これ迄の貴重な体験と尊い教訓を生かし本市のため、泉町のために全力で取り組んでまいります。一層の指導を賜ります様、お願い申し上げます。

力を取り組んでまいります。一層の指導を賜ります様、お願い申し上げます。
(二)水道行政について
「水道行政について、東濃用水の建設負債の完了により水道料金の値下げの要求と共に、特に公共下水道の普及促進のため、他市より高いと思われる20㎡・25㎡以上の従量料金の見直しを求めました。(見直しの検討をする答弁でした)
(三)交通安全対策について
泉北団地へのバス乗り入れに係るバス停設置の長年の要望に対し、その後の進捗状況の質問に対し関係住民の理解を得るために働きかけを続行中であるとの答弁でした)
これらを含め今後さらに地元の問題を粘り強く、推進してまいりますので、ご意見、ご要望等、申し付け下さる様お待ち致しております。

泉町の皆様こんにちは。皆様様の暖かい励まし、ご支援を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。
大切な御心に添え、謙虚に力強く活動する決意を新たにしております。
特にこれからは、市にとっても町にとっても、大事な時期であり、また根本的な発想の転換も必要になってきております。
身近な問題に取り組みとともに、大きな夢のある取り組みをして行きたいと思っております。
基本的には、市が発表する計画について多少の発言をするということよりも、計画に入る前の段階から、地域の将来構想について議論する必要があると思っております。
以下、多少の問題提起もしてみたいと思っております。
市消防庁倉庫跡地利用について
下町にオープンしたウエルフェア土岐の中に老人のデイサービスセンターができました。車イスや寝たきりの方の入浴サービスも含め、日帰りでゆつくり楽しめる場所になっております。これは、少なくとも、各学校区に1ヶ所必要にもならず、大富地区で、墓地組合を想定して、具体的な候補地が最も注目される処であります。これら社会の大きな変動と国家的プロジェクトに対し、我が土岐市の現状は、地場産業が長期低落傾向にあり、先端産業の誘致、育成もままならず、人口が停滞する中で将来を担う若者の市外への流出が大きな問題となっております。そこで、広大な市有地を開発し、地場産業と共存できるニューセラミックス等の先端産業を誘致して、若者に魅力ある雇用の場の確保と、市民生活を向上させるための経済政策が急務の課題であります。その上で、地場産業に体質改善を求め、付加価値の高い製品を開発し、全国最低水準とされる市民税や固定資産税を払っていないながら、市の施策が南部に厚く、北部に薄いと云われることのないように、今回七人になった泉町議員団がふるさと泉町の為に、団結していかなければならないと決心を致しております。

⑥0年9月、将来の本市のさらなる発展のため、本市産業の複合化を計り若者の地元定着のために、速やかに古き考えを捨て、他産業の誘致を、英断を持って実行すべき、今がその節目である」と提言(市長の勇気ある決断により、61年3月土岐市工場誘致条例が、できました)

⑥1年9月、保育園の延長保育の新たな提言(なげり強く取り上げ)ひた保育園で本市初の実施
⑥2年9月、時代の進展から見て学校教育にパソコンの早期導入を提言(63年度より導入開始)
⑥その他他生活に密着した問題として、61年には父 семействаの医療費助成を提言し62年4月から新条例として発足
又教育委員に女性の登用、水道料金の値下げ、ゴミ問題、自然を守る陶史の森の整備と今後のあり方等本会議委員会、予算要望等その他あらゆる機会を通し今日まで市民の皆様と共に力一ぱい、頑張つてまいりました。さらに今後これ迄の貴重な体験と尊い教訓を生かし本市のため、泉町のために全力で取り組んでまいります。一層の指導を賜ります様、お願い申し上げます。



市長 高橋 孝彦

いい街づくりへ おもいをはせて

持って行きたい。老人保健施設の実現を市総合病院の西側空地に特別養護老人ホームとの中間施設の実現に向け、市の重い腰を上げさせたい。また、美濃陶生苑の増員も計らねばならない。ふるさとへの顔づくり
安土・桃山の里としての特徴をうち出した陶芸と健康の里づくりなど、土岐市のシンボルとなるような地域づくりを東海環状道路の第二サービスエリアで注目される陶芸村付近の将来構想の中で議論したい。

このたびは、皆様のお力で市議に初当選をさせて頂いたこと、誠にありがとうございます。心暖かいご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。さて、今土岐市を取り巻く環境は大きく変わろうとしております。大きく変わる中、我々市議員は、一極集中政策の弊害を是正すべく、各機関の多極分散を打ちだしました。特に東濃地方において、東濃西部研究学園都市構想を掲げています。すなわち、東濃地方が将来的に大変重要な地域であること位置づけている訳です。東海環状道路、リニア新幹線、中部国際空港、中央、東名、名神各高速道路と直結し、気候温暖であるこの地域が最も注目される処であります。これら社会の大きな変動と国家的プロジェクトに対し、我が土岐市の現状は、地場産業が長期低落傾向にあり、先端産業の誘致、育成もままならず、人口が停滞する中で将来を担う若者の市外への流出が大きな問題となっております。そこで、広大な市有地を開発し、地場産業と共存できるニューセラミックス等の先端産業を誘致して、若者に魅力ある雇用の場の確保と、市民生活を向上させるための経済政策が急務の課題であります。その上で、地場産業に体質改善を求め、付加価値の高い製品を開発し、全国最低水準とされる市民税や固定資産税を払っていないながら、市の施策が南部に厚く、北部に薄いと云われることのないように、今回七人になった泉町議員団がふるさと泉町の為に、団結していかなければならないと決心を致しております。

⑥0年9月、将来の本市のさらなる発展のため、本市産業の複合化を計り若者の地元定着のために、速やかに古き考えを捨て、他産業の誘致を、英断を持って実行すべき、今がその節目である」と提言(市長の勇気ある決断により、61年3月土岐市工場誘致条例が、できました)

⑥1年9月、保育園の延長保育の新たな提言(なげり強く取り上げ)ひた保育園で本市初の実施
⑥2年9月、時代の進展から見て学校教育にパソコンの早期導入を提言(63年度より導入開始)
⑥その他他生活に密着した問題として、61年には父 семействаの医療費助成を提言し62年4月から新条例として発足
又教育委員に女性の登用、水道料金の値下げ、ゴミ問題、自然を守る陶史の森の整備と今後のあり方等本会議委員会、予算要望等その他あらゆる機会を通し今日まで市民の皆様と共に力一ぱい、頑張つてまいりました。さらに今後これ迄の貴重な体験と尊い教訓を生かし本市のため、泉町のために全力で取り組んでまいります。一層の指導を賜ります様、お願い申し上げます。

⑥0年9月、将来の本市のさらなる発展のため、本市産業の複合化を計り若者の地元定着のために、速やかに古き考えを捨て、他産業の誘致を、英断を持って実行すべき、今がその節目である」と提言(市長の勇気ある決断により、61年3月土岐市工場誘致条例が、できました)



# 土岐市会議員選挙終わる

## はげしかった選挙を 振り返って見よう

### 1、町別投票数及び得票数

一覽表  
いつもながら泉町の投票数は低い。前回の市議選挙より二、〇七%落ちている。  
・自覚すれば投票率を上げることが出来るのではないか。

### 2、泉町投票所別投票数及び、投票内訳一覽表

・東部はいつも乍ら素晴らしい投票率である。候補者のあつた地区は高く、少ない地区は低い。  
・駅裏地区は投票所が二か所に別れ、投票し易くなったのに相変わらず低い。努力を促したい。

### 3、大富南投票所年令層別投票率

・投票率がぐっと上がった。その理由は四十才以下の投票率向上にある。  
・相変わらず男子が女子より八%も低い。もう少し何とかならないものか。

以上の如く今回の市議員選挙の結果を前回と比較して考察してみました。泉町は現在も土岐市の中心でありませんが、今後は益々その比重を加えていきます。

泉町の一挙手一投足が土岐市に大きく影響を与えています。投票に於いてもそのモデルになるよう努力していきましょう。

	有権者数	投票率%	投票数	地元候補者得票数	組織候補者及び得票数	組織候補者各町別得票数	計	他町よりの獲得数	前回他町よりの獲得数
土岐津町	7,546	86.53	6,531	6,338		788	7,126	595	761
下石町	5,905	89.04	5,258	5,041	1	634	5,675	417	289
妻木町	5,151	84.43	4,349	4,916		524	5,440	1,091	1,056
鶴里町	1,405	94.16	1,323	1,333		159	1,492	169	256
曾木町	951	94.64	900	1,613		108	1,721	821	507
駄知町	8,541	83.22	7,108	4,761	2	857	5,618	△1,490	△2,448
肥田町	4,967	84.07	4,176	3,400		503	3,903	△273	1,254
泉町	14,094	82.03	11,561	8,564	1	1,394	9,958	△1,603	△1,933
計	48,560	84.86	41,206	35,966	4,967	4,967	40,933	(3,366)	(4,381)
		無効投票 273	有効投票数 40,933		(12.1%)			△は流出	

	有権者数	投票数	投票率	順位	地元候補者得票数	得票率	組織候補者得票予想数	計	流出数	前回回数
河合	832	707	84.98	2	1,506	75.3%	242	1,748	252	94
定林寺	1,507	1,293	85.80	1						
大富北	2,855	2,356	82.52	3	3,388	86.7%	471	3,859	48	1,105
大富南	1,919	1,550	80.77	6						
駅裏東	1,875	1,508	80.43	8	1,313	51.1%	310	1,623	945	713
駅裏西	1,316	1,060	80.55	7						
泉北	2,270	1,849	81.45	4	1,081	58.5%	221	1,302	547	
駅前	1,520	1,238	81.45	4	1,276	103%	150	1,426	+188	111
計	14,094	11,561	82.03		8,564		1,394	9,958	1,603	1,933

年令層	62.9 市議員 投票率	3.4 県議員 投票率	3.9 市議員 投票率
25才迄	46.6%	38.6%	53.1%
30	51.3	54.4	67.6
35	65.1	64.6	67.6
40	63.7	52.5	70.2
45	72.4	75.4	82.7
50	82.0	76.7	87.9
55	83.1	85.7	90.0
60	83.2	84.8	87.6
65	89.5	91.1	94.2
70	87.9	82.7	93.9
75	80.0	78.2	92.3
75才以上	62.0	62.0	81.9
全男子	71.7	71.7	80.7
男子	69.1	69.2	76.6
女子	74.2	74.0	84.6

十一月一日、泉町に誕生した泉町軟式野球連盟（会長岡田脩典議）の主催、中日新聞社、土岐市軟式野球連盟後援の連盟結成記念大会は十一月二十四日、十二月一日の両日、快晴の大徳原球場で加盟七チームによって開催された。  
和田全弘市議会議長の始球式で火ぶたが切られたトーナメント戦は「泉クラブ」が前評判通り実力を発揮して勝ち進み、決勝戦では泉ヶ丘町の有力チーム「ツバサ」に十一対五で快勝、みごと真紅の連盟優勝旗を手にした。  
泉町軟式野球連盟の実質的なスタートは平成四年であり、それに備えて新チーム結成の動きや、ユニフォームを新調するチームもあり、来春、シーズン・インの盛り上がり期待されている。なお、記念大会の成績は次の通りである。

- 優勝 泉クラブ  
二位 ツバサ  
三位 (1)ファイティングアローズ  
(2)梅の木

## 「泉クラブ」 軟野連結成記念 大会を制す。

よって長大！ みて長大！ かって長大！

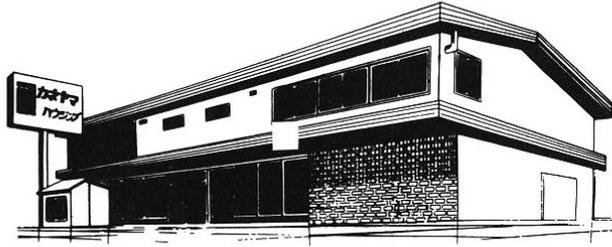


# 長大

営業時間  
AM 9:30  
PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62  
TEL 55-1844

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案！



## カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市泉森下町2  
TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451